

県北農業研究所本館等清掃業務仕様書

本業務は、この仕様書に定めるところにより実施するものとする。

1 清掃業務区分

清掃業務は、次の区分によるものとする。

- (1) 日常清掃作業
- (2) 定期清掃作業

2 清掃箇所等

- (1) 清掃対象箇所、面積及び内容は、別紙1「県北農業研究所本館等清掃作業基準」のとおりとする。
- (2) 建物の配置は、別紙2「平面図」のとおりとする。

3 従事者

- (1) 従事者は、作業中一定の被服を着用し、上着に会社名及び氏名を記載した名札をつけること。
- (2) 従事者は、満18歳以上の者とする。
- (3) 従事者は、本書に定める作業内容を十分に行える者とし、清掃について十分経験を有する者を配置すること。
- (4) 契約締結後速やかに清掃業務従事者名簿を提出すること。従事者の変更又は追加が生じた場合は、その都度変更後の名簿を提出すること。
- (5) 従事者の中から、庁舎管理者との連絡調整等に当たらせるため、現場責任者を1人選任すること。
- (6) 従事者は、すべて身元確実な者とし、作業を行う場合は機敏に活動するものとする。
- (7) ペースメーカーが必要な従業員に作業を行わせないこと。

4 作業日時等

- (1) 日常清掃作業は、原則として別紙3「令和7年度 県北農業研究所本館等清掃業務委託実施予定表」に示す勤務日の午前7時30分から11時30分までの間に行うこと。
- (2) 定期清掃作業は、閉庁日（土日又は祝祭日）に行うこと。
- (3) 作業にあたっては、移動した物は定位置に戻し、建物及び設備等に損傷を与えないよう留意すること。
- (4) 作業中危険を伴う場所については、安全施設又は安全帽等必要な措置をとること。
- (5) 従事者は、作業終了次第退庁すること。

5 清掃計画及び報告

- (1) 受託者は、定期清掃の実施計画について、4月中に委託者に提出すること。
- (2) 実施した清掃内容は、書面により速やかに（3月31日については、当日中に）委託者に報告すること。

6 清掃材料等

- (1) 洗剤、ワックス、機械及び器具等の清掃材料は、清掃箇所の材質に適合した品質良好なものを
用いること。
- (2) 業務の実施に必要なトイレットペーパー、石鹼水その他の消耗品に要する経費は、全て受託者
の負担とする。

7 作業実施にあたっての一般的注意事項

衛生及び火気取締りに留意するとともに、委託者の業務に支障のないよう次の事項に十分注意する
こと。

- (1) 作業用材料として、ガソリン及びベンジン等の引火性のあるものは、絶対に使用しないこと。
- (2) 窓の開閉等により塵芥を飛散させないこと。
- (3) 作業に使用する機械及び器具等の取り扱いにより、衝撃、湿気等で備品その他を損傷させない
こと。

8 作業の一般的仕様

- (1) 作業のため、机、椅子、その他の物品等を移動又は使用する際は、丁寧に取り扱い、建物及び
設備等に損傷を与えないようにすること。
- (2) 水拭きは常に清潔な水を使い、拭き跡のできないように行うこと。
- (3) 拭き掃除及び塵払いは、塵芥を飛散させないように吸塵掃除機、モップ又は毛ブラシを使用す
ること。
- (4) ガラス器具、鏡、陶器類及び金属の部分の掃除仕上げは、良質で清掃素材に適した乾布を使用
すること。
- (5) 床面を洗淨した場合は、洗剤及び水分を完全に拭き取ること。
- (6) 床面、壁面及び階段等に、インク、果汁、油等の汚れがあるときは、それぞれの性質に応じた
洗剤を用いて拭き取り、汚痕の出ないように行うこと。
- (7) 庁舎内のゴミは、収集後、可燃ゴミ、ビン、缶、ペットボトル、陶器、ガラス類、金属類、粗
大ゴミ（以下「廃棄物」という。）に分類のうえ所定の場所で保管し、収集日当日朝午前9時まで
に収集場所に出すこと。なお、収集日については別途委託者から通知する。
- (8) 扉の取手、廃棄物容器等の消毒にあたっては、それぞれの目的にあった消毒用石鹼、クレゾー
ル石鹼液等を使用すること。
- (9) 金属類の磨きには、磨剤を使用すること。

9 清掃内容

(1) 日常清掃

ア 床

- ① 日常の作業は、自在箒又は吸塵掃除機等を使用して塵芥を取り除き、甚だしい汚れはモ
ップ等による水拭き又は洗剤液拭きにより除去すること。
- ② タイル、モルタル床は、デッキブラシ等により水洗いし残水の溜まらないよう掃除する
こと。

イ 屑入れ

- ① 屑入れは、内容物を取り除き、拭き取り洗浄すること。
- ② 屑入れの中から、処分することが疑問と思われる書類及び資料等を発見したときは委託者に報告し、指示を受けること。

ウ 便所、洗面台

- ① 床、ドア、へだて、洗面台、鏡等の汚れた部分を水拭き又は専用洗剤を用いて洗浄すること。
- ② 便器は床面清掃の都度、専用洗剤を用いて洗浄し、消毒すること。
- ③ 汚物入れ及び紙屑入れは内容物を取り除き、拭き取り洗浄すること。
- ④ トイレットペーパーは常に補充しておくこと。

(2) 定期清掃

ア 床（洗浄、ワックス塗布）

- ① カーペット類の床は、最初にカーペットスーパー、吸塵掃除機等で塵芥を取り除いた後専用洗剤を用いて全面を洗浄して丁寧に汚れを除去のうえ、十分に乾燥させること。
- ② ビニールシート、ビニールタイル等化学建材使用の箇所は、最初に荒掃除し、次に真空掃除機を用いて掃除のうえ、床に付着している汚損物は指定剤で除去し、洗剤をもって全面にポリッシャーをかけ、汚水を拭き取った後十分乾燥し、ワックス塗布のうえさらに電気ポリッシャーをかけて磨き出しすること。また、巾木タイルは、乾布でつや出しすること。

イ 窓ガラス

- ① 窓ガラスは、水拭き又は乾布で磨きあげること。
- ② 窓ガラスを石鹼水又は薬液を用いて清掃した場合は乾布で磨きあげること。
- ③ 窓以外の扉、間仕切り、欄間等のガラスについてもガラスの例に準じて行うこと。また、窓枠、ブラインド等についても同様に行うこと。
- ④ 外部サッシは、窓から乾いたモップ、羽根箒又はブラシ等を用いて塵芥を除くこと。

10 作業要領の徹底

受託者は、従事者に対し本書の内容を周知させるとともに、作業要領等委託業務に必要な事項を教示し訓練を行うこと。

11 その他

清掃業務を実施するため必要と認め県が供与する休憩室、用具保管場所などの使用にあたっては、常に清潔に整理、整頓し火災事故等をおこさないように留意すること。

本仕様書以外の項目については、その都度、発注者及び受注者間で協議のうえ決定する。